



東関東支部の2チーム紹介

今回は、東関東支部に所属する千葉沼南ヤングと水戸青藍舎ヤングを紹介する。3月の春季大会に出場した千葉沼南ヤングは、投手陣を中心とした堅い守備力が持ち味。水戸青藍舎ヤングは機動力を生かした得点力に磨きをかけ、ともに夏の全国選手権出場を狙う。また、「第10回タイトベースボール杯東日本ジュニア大会」（神奈川・保土ヶ谷球場など）が今日22日開幕する。

ヤング情報

毎月第2・4土曜

◆千葉沼南ヤング◆

Table listing players for Chiba Noman Youth, including names, positions, and physical stats like height and weight.

◆水戸青藍舎ヤング◆

Table listing players for Mito Seiansei Youth, including names, positions, and physical stats like height and weight.

悲願の全国1勝へ「守り勝つ」

小浦隼之介主将(3年)は夏の全国大会に向けて、堅い守備で守り勝つチームを目指します。全員一丸となって、1戦必勝で優勝できるように頑張ります」と気合を入れた。悲願の全国1勝へ、千葉沼南ヤングは熱い夏に挑む。

春の悔しさは夏の選手権で晴らす。千葉沼南ヤングが全国大会初勝利を目指した3月の春季大会は、同大会4強の兵庫夢前ヤングに1回戦で0-1と惜敗。2013年夏の選手権から春、夏、秋を合わせて5度目の挑戦で、またしても初戦の壁に阻まれた。選手たちは悔しさを胸に体幹を徹底強化、技術面、精神面ともにレベルアップを図っている。



林法明監督(写真①)は「全国で勝つことを目標に掲げ、練習に励んでいる。今年のチームは守備からリズムを作り、攻撃につなげる。春の経験とともに選手の特徴を生かして、全国大会出場を達成したい」と意気込む。目標は16年以來、5年ぶりの全国選手権出場。選手個々での的確な状況判断を、自ら考えてプレーする意識を高めている。

3年生を中心とした戦力が頼もしさを増してきた。177センチ、右のエース数井秀雅を軸に、関根侑真外野手兼投手、木村秀明外野手兼投手、日村勇斗投手兼外野手(いずれも3年)のリレーで連戦を乗り切るプランは着々と進んでいる。攻撃では、勝負強い打撃と走塁に定評がある棚瀬智大外野手(3年)をはじめ、状況に合わせた木村と関根のチームバッテリーに期待が高まる。



水戸青藍舎ヤングのメンバー

機動力で夏の選手権初出場だ

今季は機動力とともに投手力と打撃力もアップし、戦力も整ってきた。主将で3番を打つ佐藤颯内野手(3年)は「勝利の時こそ反省し、敗戦によって成長を得る」と選手たちは実践形式の練習や対外試合を通してミスを減らし、ミスをした場合にもどう対応するかを追究している。



今泉賢一監督(写真②)は「昨年の新人戦敗退から守備と走塁の向上に重点を置き、ヒットが出なくても1点を取れるチームを目指してきた。選手権の出場権を獲得して楽しく野球をさせてあげたい」と話す。モットーは「勝利の時こそ反省し、敗戦によって成長を得る」と選手たちは実践形式の練習や対外試合を通してミスを減らし、ミスをした場合にもどう対応するかを追究している。

Table listing tournament schedules for the 10th Title Baseball Cup East Japan Junior League, including dates and times for various teams.

【注】BCはベースボールクラブの略。試合会場は、サ=サーティーフォー保土ヶ谷球場、横=横浜旭グラウンド、オ=オセアン横浜グラウンド、西=西湘四の宮グラウンド

1、2年生主体の「第10回タイトベースボール杯東日本ジュニア大会」が今日22日、神奈川・サーティーフォー保土ヶ谷球場などで開幕する。西関東支部10、東関東支部6、北日本支部1の17チームが出場。決勝に進出した2チームが、第9回ジュニア選手権(7月17、18日、岡山・津山市営球場)へ東日本ブロック代表として出場する。